



京都大学

平成23年度

職員採用案内



総長挨拶 ————— 02

【特集①】「研究者から見た京都大学職員」 03  
 ～i P S細胞研究所長 山中 伸弥教授～

【特集②】「民間企業から見た京都大学職員」 05  
 ～キヤノン株式会社 総合R & D本部  
 医用イメージング推進プロジェクト担当部長  
 宮崎 康子様～

研究 日本の最先端研究の一助を担う 07

国際 世界と大学の架け橋 08

学生・教務 そこに学生がいるから 09

総務・企画 大学運営の潤滑油として 10

財務・会計 財政面から大学を動かす 10

病院 最先端の医療現場に貢献する 11

図書 大学の知識を未来につなぐ 12

施設系技術 大学をプロデュース 13

教室系技術 教育と研究の最前線で 13

Q & A ————— 14

勤務条件、福利厚生 ————— 15

研修・自己啓発 ————— 16

New Comer's Supporters ～内定者を全力でサポート！～ 17

人事担当理事からのメッセージ／採用の流れ・実績 18



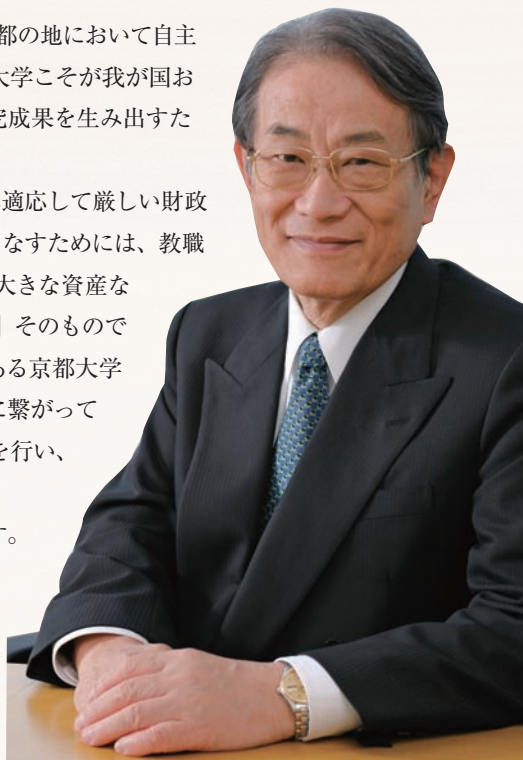
# 誇りと向上心を持って

京都大学は1897年の創立以来、自由の学風のもと闊達な対話を重視し、京都の地において自主自律の精神を涵養し、高等教育と先端的学術研究を推進してまいりました。大学こそが我が国および人類の将来にとっての知の源泉であり、衍沃な大地のごとく、人材と研究成果を生み出すための、もっとも必要とされる存在であります。

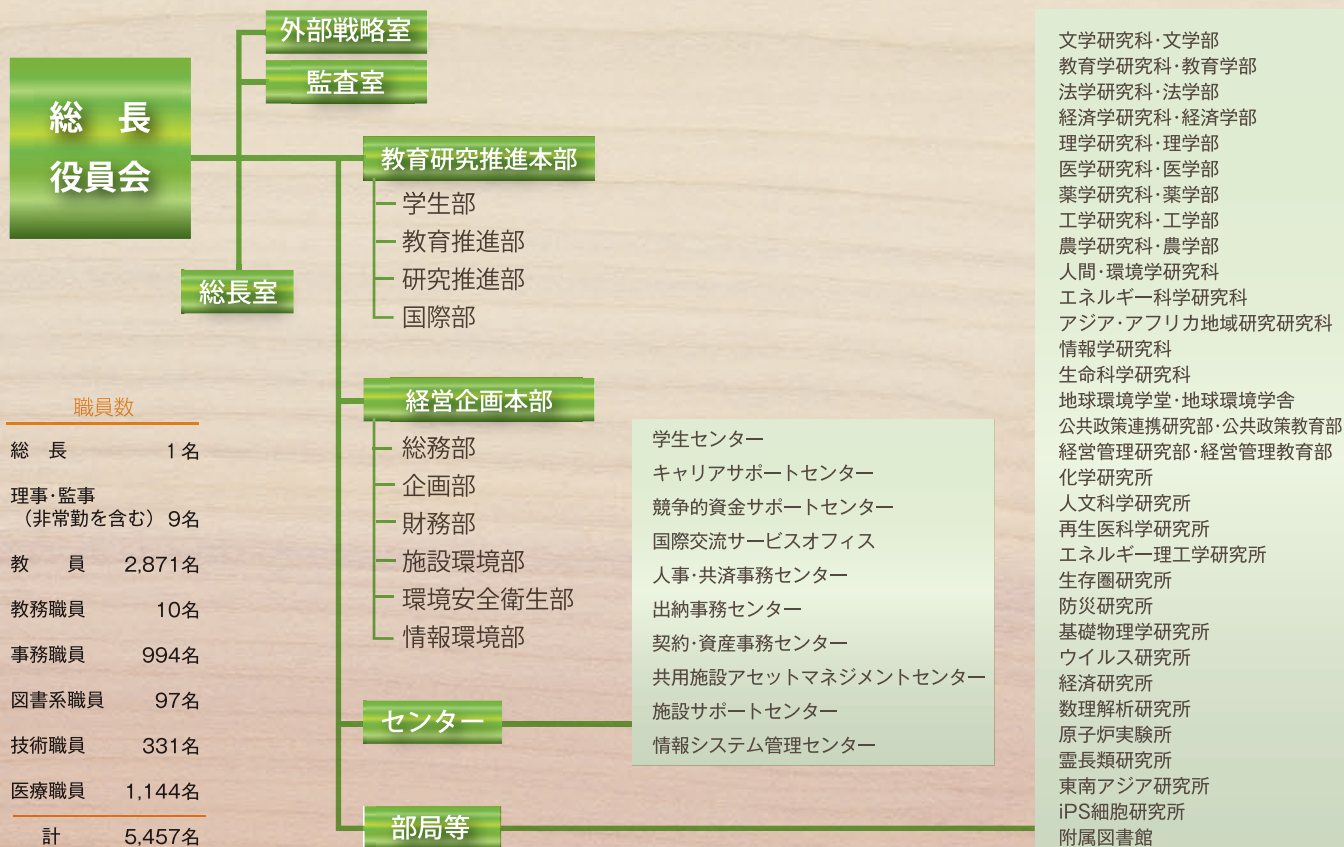
京都大学も平成16年に国立大学法人に生まれ変わりました。新たな制度へ適応して厳しい財政事情を乗り越え、大学の果たすべき重大な使命である教育・研究・社会貢献をなすためには、教職員が誇りと向上心を持って仕事に取り組む必要があります。人材こそが最も大きな資産なのです。言い換えれば、京都大学とは学生や教員、そして職員、つまり「人」そのものであります。一人一人が「彩」をなして、伝統を基礎とした魅力・活力・実力ある京都大学の文化を創り、未来を創っていくのです。職員の業務も今と未来の京都大学に繋がっている。これを念頭に日々の業務に勤しみ、何かの選択の折りにはこの自問自答を行い、そして勇気を持って行動を決定してほしい。心からそう願います。

京都大学は、大きな志と使命感を持った皆さんが胸を張って働ける場所です。互いに学び合い、大学とともに成長していく。そんな方々を是非ともお待ちしております。

京都大学総長 松本 紘



## 京都大学事務組織図・職員数



※その他27の教育研究施設等、6つの機構等があります。

※特定有期雇用教職員を除く  
(平成23年1月1日現在)

# 研究者から見た 京都大学職員

iPS 細胞研究所長 やまなか しんや 山中 伸弥教授に聞きました



—— 京都大学の魅力をお聞かせください。

私は大阪で生まれ、神戸大学を卒業し、奈良でも働いたことがあるのですが、京都という伝統のある街で、最先端の研究ができるという環境をとっても気に入っています。特に、京都大学の進取の気風、自由を尊ぶ気風を実感しています。干渉もしないが助けもしないという気風が、多くのノーベル賞受賞者など優れた人材を輩出してきた一因なのでしょうね。大きな観点から言うとこのようなことです。

私の京都大学での仕事は再生医科学研究所の教授としてスタートしました。当時マウス ES 細胞だけでなく、ヒト ES 細胞で研究する必要性を感じていましたが、それまで所属していた大学には倫理委員会がありませんでした。その中、大学に医学部も附属病院もあり、もちろん倫理委員会もあり、日本で唯一 ES 細胞を樹立した再生医科学研究所からお誘いがあったのです。京都大学が総合大学且つ研究所が一番多くある大学で、様々な研究を行っていることは、研究者にとって大きな魅力だと思います。

—— 京都大学で働くというのはどのようなことだとお考えですか。

職員のみなさんには、多方面にわたりサポートしていただいています。研究を支援する職員の方々のおかげで、私のような研究者は充実した研究活動ができ、iPS 細胞研究所 (CiRA = サ

# 山中 伸弥

山中 伸弥

京都大学 iPS細胞研究所 (Center for iPS Cell Research and Application: CiRA) 所長  
京都大学 物質—細胞統合システム拠点 教授

1962年生まれ。国立大阪病院で臨床研修医として勤務した後、  
国内外の大学を経て平成16年に京都大学へ。

平成22年4月、京都大学iPS細胞研究所の所長に就任。

世界で初めてiPS細胞 (induced pluripotent stem cell: 人工多能性幹細胞) の作製に成功し、  
国際的に最も注目されている研究者の一人。



所内懇親会にて職員と



イラ) の所長として研究所の運営を行うことができます。職員のみなさんにはいつも感謝しています。

小さな大学と違い、何をやるにしても本部の各部署との事前打ち合わせが欠かせません。一見時間を取り面倒な気がするのですが、打ち合わせを重ねる間に、用意した資料が解りやすくなり、何よりビジョンが明確になり、結果的には良い成果が得られます。このように部局でしっかりと教員と事務職員との意思の疎通を図り、本部各部署とのキャッチボールをうまくできるシステムを作ることが、教員にとっても、事務職員にとっても、働きやすくなる秘訣だと思います。

—— 京都大学職員とどのように仕事に取り組んでいらっしゃるんですか。

他の部局もそうですが、CiRA は大学本部や他部局と協力をして研究活動を行っています。良好な協力関係を築いて、仕事をスムーズに進めるために、事務長を中心とする職員のみなさんと原則週1回のミーティングを開いています。そこで、情報や意見の交換をして密な連携を図り、教授会、概算要求などに反映させています。特に概算要求は、CiRA の職員だけでなく、組織や教員に関する要求事項は企画部の方々、基盤的経費等の要求は財務部の方々にも多大な協力をいただきました。おかげで、平成23年度概算要求の内示は大変良い結果をいただいています。また、昨年10月に

CiRA、ウイルス研究所及び再生医科学研究所の予算執行、共済社会保険等共通した事務を行うため、病院西地区共通事務部が発足しました。今後、運営費交付金等の減額が予想される中、効率よく精度を落とさず事務組織を維持するための組織構築と聞いています。このような取り組みに対しても、前向きな意見を提言していきたいと思っています。

—— 「こういう場面で職員に助けられた」というエピソードをお聞かせください。

CiRA は2010年4月1日に設立されました。5月に、盛大な竣工式典及び開所式典を開催するに当たり、参列者への案内や式典の準備など膨大な事務量をこなしていただき、滞りなく終了でき大変助かりました。特に、その際の研究所周辺及び時計台周辺の警備については、文部科学大臣を始め多数の要人が出席される中、総務部を中心に多数の方々の助けを借り事なきを得ました。非常時においても、京都大学の本部と部局が連携良く対処でき、職員のみなさんに深く感謝しています。

また、概算要求の説明で文部科学省に出向いた時、海外出張等で忙しかったので、新幹線の車中で最終打ち合わせを行うことになり、その時、事前に送付していた資料と説明内容に齟齬があることに気づいたのです。急きょ資料を訂正しましたが、文部科学省に着いてからのプリントアウトでは間に合わない時間でした。同行していた職員が、文部科学省の概算要求とは違う部署の事務官に頼み、データをメールで送付しプリントアウトをしてもらうことが出来ました。その時は冷や汗ものでしたが、事なきを得ました。部局においても、職員が文部科学省とのパイプを持てる大学の環境が大切であると思いました。

—— 今後、京都大学職員に期待することを聞かせください。

社会が大学に期待する役割も変わってきていると思います。研究成果の社会還元やどのように研究が役に立つかということをご一般の方々に伝え、理解をえることがより一層重要になってきています。また、知的財産を確保することにより、研究成果を社会に還元することも重要になっています。そのような社会的ニーズの変化に対応すべく、失敗をおそれず、前例にとらわれず、積極的に新しい物事に挑戦してほしいと思います。そういう挑戦が、新しい大学の魅力を創造することにつながるのではないのでしょうか。

受賞歴

- 第3回 (平成18年度) 日本学術振興会賞 (平成19年3月)
- 平成20年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術特別賞 (平成20年4月)
- Shaw Prize in Life Science 2008 (平成20年9月)
- 平成20年秋の紫綬褒章 (平成20年11月)
- Robert Koch Prize 2008 (平成20年11月)
- 2009 Albert Lasker Basic Medical Research Award (平成21年10月)
- 2009 Canada Gairdner International Award (平成21年10月)

- 平成22年度日本学士院 恩賜賞・日本学士院賞 (平成22年6月)
- 第26回 (2010) 京都賞 先端技術部門 (平成22年6月)
- The 2010 Balzan Prize (平成22年9月)
- 京都市民栄誉賞 (平成22年9月)
- 平成22年 文化功労者に顕彰 (平成22年11月) 他多数

# 民間企業から見た 京都大学職員

京都大学・キヤノン協働研究プロジェクト担当者に聞きました



宮崎 康子  
キヤノン株式会社 総合R&D本部  
医用イメージング推進プロジェクト担当部長  
CK プロジェクト担当

—— 京都大学職員と行った仕事の内容をお聞かせください。

産学連携の一連のプロセスにおいて、共同研究を進める上でさまざまな部門の職員の方々の支援や協力をいただいています。その中でも特に私が職員の方々と協力し合っている具体的な仕事は、各種契約にはじまり、経費予算・出金関連、諸行事に関する企画・運営、広報活動、臨床研究を推進するための施設の整備など、多岐にわたります。

—— どのような点で、京都大学職員と協力できたか、エピソードをお聞かせください。

職員の方と協力した業務はたくさんあるのですが、その一つとして「共同研究契約」があります。「共同研究契約」は共同研究を進める上で、はじめに協議し決めておかなければならない重要事項です。

CK プロジェクトは、京都大学が築いてきた総合的な科学技術基盤と高い臨床研究の実績に、キヤノンが持っている製品開発の技術力が強く連携された協働モデルです。現在、京都大学とキヤノンはたいへん良好な関係を築き、研究開発を進めています。しかしながら、もともと大学と企業は、組織や風土、考え方も違う者同士です。協議の段階で揉めてしまうと契約締結に時間がかかり、研究活動に多大な影響を与えてしまいます。



キヤノンのプロジェクトメンバー

# 宮崎 康子

## 京都大学・キヤノン協働研究プロジェクト (CKプロジェクト)概要

CKプロジェクトは、2006年に文部科学省の「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」プログラムとしてスタートした、10年を期間としたプロジェクトです。疾病の早期診断を実現する次世代の医用診断機器の開発と臨床研究を推進する目的で、京都大学の医学、工学、薬学、情報学の研究者とキヤノンの技術者を合わせ200名以上が協力し知恵を出し合い、多岐にわたる最先端の医療画像診断分野で研究開発を推進しています。



京都大学 / Canon キヤノン株式会社

## 協働研究プロジェクト 推進室・事務支援室

京都大学内のプロジェクト推進室



京大工学研究科教授（CKプロジェクト担当）、職員、キヤノンスタッフとの打合せの様子

契約担当の職員の方は、両者のポリシーを理解し、知財、経費、研究分担、秘密保持、成果の帰属など、特に課題も多く時間がかかる内容に関し丁寧に且つ迅速に対応してくれました。常に両者のWin-Win（お互いが利益になる方法）を考え、問題が出た場合、早急にアイデアを提案してくれました。その柔軟な対応とフットワークの良さには本当に驚かされました。おかげで毎年の契約はスムーズに行われ、研究活動を遅れることなく始めることができています。

### —— 京都大学職員に対してどのような印象をお持ちかお聞かせください。

私が職員の方々と仕事をさせていただき前に抱いていた印象は、正直、旧来の国家公務員的な「真面目」「堅い」「マニュアル的」といった、いわゆる「お役所の人」というイメージでした。また業務内容に関しても、漠然と教員や学生に関わる業務を担われている、と

いう印象でしかありませんでした。

しかしながら産学連携プロジェクト（CKプロジェクト）を担当し、京都大学内のさまざまな部門の職員の方々と仕事をして感じたことは、業務内容が多岐にわたり、幅広い業務を担当されているということです。研究支援はもとより、財務、人事、総務、知財、広報、施設、情報、国際交流など、専門性も強く、大学を支えているという自信を持つ、プロフェッショナルな方が多いと感じました。また、若い職員も多く、明るく活動的な職場の雰囲気も伝わってきました。

トップレベルの教育や研究成果を身近に感じながら仕事ができる環境は、

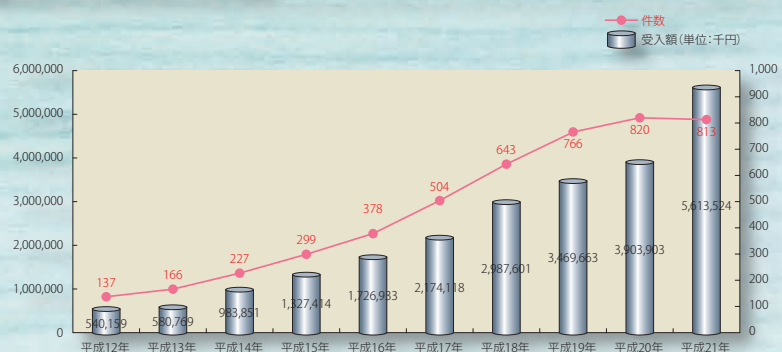
一般企業にない面白さがあり、たいへんうらやましく感じています。

—— 今後、京都大学職員に期待することをお聞かせください。また、京都大学を志望する方へのメッセージをお願いします。

仕事をする上で一番大切なことは「信頼」だと思います。「人と人の信頼関係」は大学や企業の立場に関係なくたいへん重要なことです。今後も、これまでに構築してきた「信頼関係」をより強固なものにし、お互いを十分に理解し協働することで高い成果を生み出して行きたいと思います。

国際競争力のある技術を研究開発し、維持・活用していくためには、大学も企業も、今後ますます産学連携活動を強化しなければなりません。国内外の様々な機関と関わり、様々な場面で能力を磨き、チャレンジする人、また日本の科学技術を支えていくという、高い志を持った人にぜひ京都大学に入っていただき、お互いに切磋琢磨しながら、協力できることを期待しています。

### ■ 民間等との共同研究受入状況の推移



出典：京都大学概要 2010

## 日本の最先端研究の一助を担う

～研究資金の獲得や外部との共同研究・委託研究の契約等を行います～

主な業務内容 ■ 科学研究費補助金その他補助金の受入／産官学連携に関する業務、外部との共同研究・委託研究の契約及び経費管理／公費プロジェクトに関する業務、寄付金の受入／知的財産権の管理・促進／先端機器購入に係る契約／白眉プロジェクト等の研究者育成プロジェクトの支援

永野 武彦 Nagano Takehiko

工学研究科 学術協力課 産学交流掛 主任

平成9年採用

### 現在の仕事内容を教えてください。

工学研究科に所属される先生方の外部（公的機関や民間企業）からの共同研究、委託研究などの申し込み、契約書の締結、受入した研究経費の執行を担当しています。特に民間企業との共同研究についての契約書締結に向けた協議を重点的に行っており、大学の弁理士の方々や、先生方と相談しながら、仕事をする事が多いです。

### 職場の雰囲気はどうか。

研究支援という性格から、先生や企業の方から、問い合わせの電話がかかってくる事が多く、静かというよりは賑やかといった感じです。私の所属する部署は、比較的若い年齢の方が多いのですが、気を遣わず、活発な意見交換が行えている職場だと思います。

### 職員に求められるものは何でしょう。

細かい仕事上の能力は、業務を行うに従って身につけていくと思います。何事にも興味を持って、実行しようとする姿勢と人とのコミュニケーション能力があれば、きっと大丈夫です。



為せば成る  
為さねば成らぬ 何事も  
成らぬは人の 為さぬなりけり

### これまでで印象に残った仕事を教えてください。

外部資金の新しいプロジェクト（社会人対象の養成プログラム）の立ち上げ時に携わったことです。組織内規の作成、実施場所の環境整備、ホームページ作成、履修生の選抜方法や履修要覧の作成に至るまで人事、教務、会計、とにかく、あらゆる分野の調整や作成に奔走しました。その甲斐もあり、第1期生の修了を無事迎えられることが、印象に残っています。

### メッセージをお願いします。

大学というところから想像するのは、学生というイメージが当然強いと思いますが、大学では学生の方と関わることがほとんどない部署も多数存在します。あまり表には見えにくい仕事もありますが、そういう意味では多種多様な業務が存在します。その中に、皆さんにとって、やりがいのある仕事が見つかるのではないのでしょうか。是非、みなさんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

## 文部科学省研修のことも聞きました。

### 研修に参加しようと決めた動機

国からの運営費交付金が削減されていく中で、大学が安定した資金を獲得するには外部資金を獲得することは不可欠であり、これから外部資金に関する依存は大きくなっていく中で、国の中枢の機関が実施している競争的資金制度の概要を学び、理解することが、後々の自分の財産になるのではないかと考えたためです。

### 研修中の仕事について

研修中の主な仕事は、文部科学省が研究者に交付する「科学研究費補助金」の審査手続きにおける審査委員の先生方への委嘱手続きや旅費、手当の支給業務でした。その実務の他にも、研修生として、研究費の今後のあり方や審査方法を審議する会議に陪席させていただく機会が多分にあり、文部科学省における競争的資金制度作りの現場や審査の実態などを肌で感じる事ができ、とても良い経験になりました。

### 文科省研修での経験を現在の業務でどのように活かされていますか？

現在は、研修中に陪席させていただいた会議の内容等が、後々に関係してくる部署にいます。文部科学省内の仕事や競争的資金制度を実際に作成する現場を肌で経験できたことで、大学の現場が持つ意見と国の教育や科学技術制度の中に少なからずギャップが存在するのを感じるようになり、それを小さくしていくようにするには、どのようにすれば良いかを考えるようになりました。

また、研修中に他大学から派遣されている他の研修生とも交流を深めることができました。それぞれの大学に帰り、現在の業務での他大学の実情をうかがうなど、情報交換を行えています。そういう、多くのコネクションができたことも大きな財産になったと考えています。

### 将来、研修への参加を考えている方へのメッセージ

遠く離れた場所へ行くことに不安を感じる方もたくさんおられると思います。実際に私も不安だらけで初日を迎えたことをよく覚えています。でも、実際に行ってみるとその不安は少しずつ解消されていき、新鮮な気持ちで業務に取り組むことができました。

もちろん、仕事ですので楽しいことばかりではなく、しんどいことや辛いことも多々ありますが、それ以上に充実した日々が送れると思いますので、思い立ったら是非、行動してみてください。

文部科学省研修とは  
広い視野をもった職員を  
育成することを目的とし  
て、文部科学省における  
行政等の実務を経験させ  
る研修です。



## 世界と大学の架け橋

～国際交流の深化や、海外との学术交流、留学生の支援等を担います～

主な業務内容 ■ 国際交流・海外渡航に関する業務 / 海外の学術機関等の交流 / 外国人研究者等の受入 / 海外の研究者、教育研究機関等に対する情報提供 / 政府間の科学技術協力事業や国際協力研究に関する業務 / 留学生の受入・派遣に関する業務 / グローバル30に関する業務

清水 美幸 Shimizu Miyuki

物質-細胞統合システム拠点 国際・企画セクション 平成 22 年採用

現在の仕事内容を教えてください。

国際シンポジウムの運営、リトリート（合宿形式の部局内の研究交流会）の運営、文科省からの依頼に対する対応などを行っています。国際・企画セクションは今年度から新設されたセクションなので、土台から新たに作り上げていく仕事が多いと感じます。また、イベント運営などは研究者の方々と共に進めるので、研究者の方々と深く付き合うことができます。

職場の雰囲気はどのようにですか。

とても雰囲気のよい職場だと思います。事務部で 30 人弱と比較的少人数なので皆さん仲が良く、また研究者の方々と秘書さんとの距離も近いです。夏には大文字鑑賞パーティ、年末にはイヤーエンドパーティとして、物質-細胞統合システム拠点（iCeMS）内の研究者、職員、家族 100 人以上が参加するパーティが開催されました。料理やケーキを用意し、バンド演奏なども行われる非常に楽しく大規模なパーティで、このような場を通じて、新たに色んな人と知り合い交流することができます。



これまでで印象に残った仕事を教えてください。

国際シンポジウムの準備で、海外の先生方との事前のやり取りの中で、いろんな要望が出たり、提出物の催促をしたり、返信が全然来なかったり、といったことを経て、無事先生方が日本に来て発表し、iCeMS の先生方と有意義な研究交流をしている姿を見ることができたことです。地道な裏方の努力が、研究にとって有意義な場の提供に貢献したのだということが実感できた瞬間でした。

京都大学を志望した理由を教えてください。

もともと文化や学術に関わる仕事がしたいと考えていたので、それらの中心の場である大学を支える大学職員という仕事に魅力を感じ、自然と母校である京大を志望しました。また、大きな大学であるほど、先端的なことにも意欲的で、その分やりがいのある仕事ができるのではないかと思ったことも理由の一つです。iCeMS は、まさに最先端の研究を行っている所なので、研究成果が新聞などで取り上げられることも多く、社会への影響の大きさを実感することができます。



経験者が語る海外研修

藪内 孝子 農学研究科等事務部 教育・研究協力課 研究協力掛 平成 16 年採用

LEAP（文部科学省国際教育担当職員長期研修プログラム）の概要について

国際的な分野で活躍できる職員の育成を目的とした研修です。1 年間を文部科学省の国際関連部署で研修し、次の 1 年間をアメリカで語学研修とインターンシップに励みます。アメリカ研修は 2 部構成になっていて、前半は 10 人ほどのグループと一緒にモンタナ州立大学で過ごし、後半は別の州立大学で各々受け入れてもらい研修を行うというシステムです。

ミシガンで職員と（本人は左から 2 番目）



研修中の仕事内容

文部科学省では、ユネスコ国内委員会関連の会議対応、問合わせ対応、出張処理等を行いました。アメリカ研修の前半は、Vice Provost for Undergraduate Education の下で入学者管理、新しいコースの策定、教員採用などの会議に出席させてもらいました。評価認証（アクレディテーション）の現場にも立ち会うことができました。後半はミシガン州立大学で、自分の研究テーマである「大学の組織的な留学生への対応」についてインタビューを主とした調査を行いつつ、スーパーバイザーのお手伝いをしました。

海外での生活について

「楽しい！」に尽きます。個々に振り返れば苦しいこともありましたが、大きく自分を成長させてくれる 1 年でした。この研修では積極的に前に出てなるべく多くの人に会うように心がけました。特にアメリカでは、多くの人に会うこと＝多くの価値観に出会うことであり、自分自身の考え方に向き合う重要な時間にもなりました。特に後半でどっぷりと違う文化に浸り外国人としての自分に向き合った経験が、現在、外国の方と接するときの基礎になっていると思います。

国際業務に関心のある人へのメッセージ

“国際業務”といっても教育や研究など様々な仕事があります。LEAP は教育の色が強い研修だと思いますが、京都大学には他の国際業務研修もあります。国際という視点から京都大学を見つめ直し、どのような業務に携わりたいのかによって研修を選ぶのがよいと思います。少しでも興味がありましたら、ぜひ選択肢の一つに入れてみてください。自分の視野と可能性を広げることができると思います。



Beaumont Tower @ミシガン

# 学生 教務

## そこに学生がいるから ～学業も生活も、頼れるサポート役～

主な業務内容 ■ 学生生活・教務に係る各種手続き / 学生に係る業務の企画及び総括 / 課外活動の企画・支援 / 入学料、授業料免状や奨学金などに関する業務 / アルバイト、下宿、寮等の紹介 / 入試の総括・企画・連絡調整 / オープンキャンパス・入試ガイダンス等の情報提供 / 全学的な教育推進政策の企画立案・連絡調整 / 中学校・高等学校との教育連携や生涯学習支援 / 就職情報の提供、各種講座開講及び個別相談等の支援

森常 恭平 Moritsune Kyohei

理学研究科 総務・学務室 第一教務掛

平成 22 年採用

### 現在の仕事内容を教えてください。

総務・学務室で、国費・私費外国人留学生を含めた学生に関わる業務を担当しています。例えば、各種奨学金の募集・推薦の案内や結果通知、定期健康診断の周知、有害薬品取扱者向けの学生健康診断の実施業務に携わっています。他にも、研究生に対する募集要項の作成や願書受付、合格者宛の通知、入学手続き等も行っています。また、インターンシップに関わる就職関係の業務や学事要項の作成もあります。もちろん、学生への窓口対応等も重要な業務です。

### 職場の雰囲気はどうか。

先輩方には優しく接していただき、人間関係の面で（語弊があるかもしれませんが）とても「楽に」過ごしています。私の担当は奨学金や留学生・国際交流なので、学生の大学生活をバックアップする役割だと思って毎日仕事に取り組んでいます。留学生が通学用の定期券の売り場を尋ねてこられた時は、場所を調べたり、場所が分かるHPを印刷してお渡しする、など、掛をあげて考え、対応するという雰囲気があります。



● なんとかなるさ

### 京大職員を志望した理由を教えてください。

何にしても規模の大きい「京都大学」という組織を動かしているエネルギーとは何だろうと考えたことがきっかけです。まず頭に浮かんだのが教員や学生であり、それを支えるのが京大職員であり、大きなエネルギーの一翼を担うことができたら、と思い始めました。

田中 麻友 Tanaka Mayu

学生センター 経済担当グループ

平成 21 年採用

### 現在の仕事内容を教えてください。

学生センター経済担当グループでは、経済的に困っている学生に対して入学料・授業料免除や奨学金などの経済支援を行っています。その中で私は主に入学料・授業料の免除に係る業務を担当しています。学生と接する機会が多く、刺激のある仕事ですが、対応を誤ると学生の生活に大きな影響を与える恐れもあるため、なるべく丁寧な指導や対応をするよう心がけています。

### 職場の雰囲気はどうか。

学期初めは授業料免除や奨学金の申請等でたくさんの学生が来室するため、電話にでられないくらい忙しい時もありますが、夏休みや春休みなどはゆったりと落ち着いた雰囲気です。また、同じグループの上司や同僚は皆さん温かい方々なので仕事の相談も仕事以外の話も気軽にできるアットホームな雰囲気の職場でもあります。

### 京大職員を志望した理由を教えてください。

京都大学の説明会で「楽しく過ごしながら仕事をする。でも『楽しさ』は『楽』ではない。楽しくするために努力をする。」とお話された方がいらっしやっただのがとても印象的でした。「自分もこういう意識で仕事に取り組んでいきたいな」と共感できたことが京都大学を選んだ決め手となりました。

### オフをどのように過ごしていますか。

よく友達と旅行に行っています。観光を兼ねて好きなアーティストのライブに行くこともありますし、大学の頃に建築を学んでいたのも、珍しい建築物や町並みを見に行くことも好きです。旅先ではなぜかその土地のおじさん、おばさんに話しかけられることが多く、日常とは違ったほっこりとした気持ちになって良い気分転換になります。

● 昨日から学び、今日を生き、明日へ期待しよう。



# 総務 企画

## 主な業務内容■

事務の総括／各種会議・諸行事に関する業務／情報公開・広報活動／規則・規程等の制定改廃／人事制度に関する企画・立案／人事異動・人材育成に関する業務／勤務時間等労働条件・処遇の管理／将来構想等の企画立案／評価の策定・運用／公開講座・学外の機関等との連携

## 大学運営の潤滑油として

～人事、広報、総括など  
幅広い業務を扱います～

村岡 篤 Muraoka Atsushi

企画部 社会連携推進課  
企画・運営グループ

平成 21 年採用



現在の仕事内容を教えてください。

春秋講義や未来フォーラムといった公開講座の企画、運営や京都大学基金の事務、京都大学同窓会に関すること、百周年時計台記念館の管理など多岐に渡っています。講演会などのイベント関係の仕事が多く、達成感や充実感を日々感じながら仕事を出来るのが大きな魅力です。大学でありながら、なかなか学生に関わる機会が少ないのですが、講演会などで、先生方と一緒にすることが多いです。

職場の雰囲気はどうか。

社会連携推進課では公開講座などイベントが盛りだくさんです。特にホームカミングデイ、地域講演会などは一大イベントで準備はかなり大変ですが、一つの目標に向かって課内全体で仕事に取り組むので、職員同士の団結力はとても強いと思います。また、意見交換も活発で若手職員でも自由に意見を述べることができ、とてもやりがいの感じられる職場です。

これまでで印象に残った仕事を教えてください。

印象に残っている仕事は数多くありますが、その中でもホームカミングデイは特別な仕事です。1日かけて同窓生の方々へ様々なイベントを開催するのですが、職員それぞれに担当するイベントがあてられるため、自分の担当には絶対の責任を持って取り組まなければなりません。他の部署の方々にも大勢お手伝いしていただくなど、大学を挙げての大きなイベントですので、これを無事に成功させることは大きな自信になり、成長したことを感じられる仕事です。

明るく、楽しく、元気よく!



# 財務 会計

## 主な業務内容■

予算編成・予算配分／資金・資産管理及び運用／決算・財務諸表作成に関する業務／会計検査・監査に関する業務／口座管理、出入金に関する業務／物品や請負業務の契約／物品の調達・管理／納入に関する検収業務／旅費、謝金等の計算、支払処理／施設の防災警備

## 財政面から大学を動かす

～予算配分から決算、資産管理、  
契約など財政運営を担います～

中川 憲一 Nakagawa Kenichi

工学研究科 管理課  
財務分析・評価掛 専門職員

平成 10 年採用

現在の仕事内容を教えてください。

工学研究科における決算業務や財務分析を担当しています。また、配分された予算が正しく執行されたか等会計処理の監査も行っています。そのため、工学研究科というところがどういった教育研究活動を行っているか等全体の業務を一通り把握しておく必要があります。

これまでで印象に残った仕事を教えてください。

以前勤務していた別の部局で決算業務に関わった時のことです。会計基準の大幅な改正があり、その対応に追われました。締切までの厳しい時間的制約があったため、大きなプレッシャーがありました。同僚や上司と議論を重ね、なんとか完結することができました。その時の充実感と安堵感は今でも忘れられません。



仕事をする上で心がけていることを教えてください。

仕事をする上で、いかにうまくコミュニケーションをとるかを心がけています。例えば、時間的に可能なら、電話やメールではなく、なるべく直接会って顔を見て話をするようにしています。電話やメールでは伝わりにくいこともよく伝わりますし、何よりもお互いの顔を知ることで、仕事もスムーズに運ぶと思います。

人と人のつながりを大切に、  
いつかあなたの財産となります。



# 病院

## 最先端の医療現場に貢献する

～患者さんや医師たちとのコミュニケーションをベースに～

主な業務内容 ■ 外来や入院の窓口業務 / 医療福祉相談 / 地域連携に関する業務 / 診療報酬請求業務 / 病歴管理に関する業務 / 医療安全、医療訴訟に関する業務 / 診療の収納及び債権処理 / 財務管理、経営分析、医療情報管理 / 産学連携関連経費に関する業務 / 物品・薬品等の契約

### 山形 彰宏 Yamagata Akihiro

#### 医学部附属病院 医療サービス課 収入掛

平成 22 年採用

##### 現在の仕事内容を教えてください。

現在、病院窓口にて現金収納業務を主に行っています。主に週三日ほどは、窓口業務を半日行い、その他に、二重払いや過誤納付をされた患者さんへの返金手続きの業務を行っています。病院事務をしている職員の中でも特に直接患者さんと関わりを多く持つ機会があり、またお金を頻繁に扱う業務であるので緊張感を持って業務に当たっています。

##### 職場の雰囲気はどうか。

採用されてから日も浅く、病院での勤務経験もないため、医療制度や仕組みなどわからないことばかりですが、普段からコミュニケーションが多いので、気軽に質問をしやすい雰囲気ですし、上司・先輩方はとても親切に丁寧な説明をしてくれます。困っている人をみんなで協力して助け合う、とても優しく温かい環境であるという印象です。



##### 京大職員を志望した理由を教えてください。

医療スタッフを支援することで高度な研究や医療技術を地域や社会に還元することに間接的であっても関われるということに魅力を感じたからです。また、京大では病院採用という枠を設け、病院事務のスペシャリストを育てようという試みにも興味がありましたし、より近い立場から病院運営に携われるのではないかという思いから京都大学を志望しました。



今日は残りの人生の  
最初の日

### 鷹森 美加 Takamori Mika

#### 医学部附属病院 医務課 入院掛

平成 20 年採用

##### 現在の仕事内容を教えてください。

患者さんの食事・寝具・病衣などの会計帳票の作成や食事嗜好調査、入院に関する相談の電話対応等、患者さんの入院生活を良好に保ち、向上させるための業務を行っています。また、医師や看護師の参加する会議の調整や、関係部門・病棟との連絡窓口となることで、病院の円滑な運営をサポートしています。



##### 職場の雰囲気はどうか。

朝は業務が集中しており、緊張感がありますが、午後になると比較的余裕ができて、穏やかな雰囲気になります。気さくな人が多いので、年齢が離れていても、お昼休みには家族の話などアットホームな話題でみんな盛り上がっています。同じフロアには女性職員が多いので、出産・育児などプライベートなことも、いろいろと相談に乗ってもらえます。

##### 京大職員を志望した理由を教えてください。

大学・大学院と学生生活が長かったということもあり、大学職員の方にはお世話になることも多くありました。そのため、大学職員の仕事に興味を持ったわけですが、特に京大は規模が大きく多彩な仕事にチャレンジできるので魅力を感じました。また病院受付のアルバイトや保険の営業をしていたこともあって、自然と病院事務の仕事に関心を持ち、志望しました。

##### 職員になるまでの経歴を教えてください。

前職は、保険の営業をしていました。保険商品は医療制度を補完するものとして勧めることが多いのですが、お客様にそうした説明をするうちに医療制度について深く知りたいと思い、病院での仕事に関心を持ちました。また営業する中で身に付けた「人の顔を覚える」特技は、医師や看護師などを含むたくさんの職員や患者さんと接する今の仕事でも、大変役に立っています。



「有言実行」  
何事もやる気次第です。

## 大学の知識を未来につなぐ

～世界最高水準の学術情報基盤を作ります～

主な業務内容 ■ 貸出・返却などのカウンター業務 / 資料の配架準備・保管 / 雑誌製本・修理 / 資料の電子化 / 図書等の選定・発注・受入 / 資料の目録作成・分類 / 図書館の広報業務 / 刊行情報の調査及び利用 / 他機関と資料の相互利用業務 / 学術文献の検索

三本木 彩 Sambongi Aya

文学研究科 整理掛

平成 22 年採用



自分が受入した図書が  
何十年後の学生さんも利用すると  
考えるとわくわくします。

現在の仕事内容を教えてください。

取書業務を担当しています。図書館の本を発注・購入する仕事です。文学研究科は購入する書籍も多く、取書業務だけで4人の担当者がいます。書籍の言語も様々ですし、和綴本や視聴覚資料も扱います。また日々の業務とは別に、図書館機構報「静脩」の編集委員を務めたり、全学共通科目「情報探索入門」の演習サポートを担当したりしています。

職場の雰囲気はどのようにですか。

現在の掛は掛長含めて13人と比較的大きな掛です。それぞれの担当の仕事が明確なので、皆さん資料と向き合っている様子で、わりと静かな環境です。職員が多いのでわからないことがあってもすぐに聞けることは大きなメリットです。たまにはお土産や頂き物のお菓子を配ってみんなでワイワイしたりします。

京大職員を志望した理由を教えてください。

本が好きで本に関わる仕事がしたいというのがきっかけです。図書館なら新刊から貴重な資料まで、日本中・世界中の本を提供できるところが魅力だと感じました。特に京都大学ならば、最先端の研究・学習をサポートでき、やりがいがあると思いました。現在の図書館は紙の書籍以外の分野が発展しており、日々変化している状況に勉強の毎日です。

職員になるまでの経歴を教えてください。

大学を卒業して、2年半書店に勤めていました。本に携われるという点では同じではあったのですが、絶版の本や市販されない本を取り扱えなかったり、問合せに答えられなかったりとお客様の要望に応えられないことが多々ありました。図書館ならできるのと思うことも多く、再チャレンジするきっかけになりました。



オフをどのように過ごしていますか。

休みの日はたまった家事をしたり、近くの図書館や美術館に行ったりとゆったり過ごすことが多いです。たまには勉強会に行ったり、同期と遊んだり、同僚の方とご飯に行ったり、スポーツしたりもします。また祇園祭に行ったり、着物で遊んだりと京都を満喫しています。

### 図書ならではの外部交流等

学内・学外の研修が多くあり、外部の図書館員の方と交流できます。また自主的な勉強会や研究会も各地で行なわれているので、参加すると様々な館種の図書館員の方や文書館・博物館・出版社の方々とも知り合えます。話題も多岐にわたり、他の館の様子や図書館の現状・課題を学べます。

京都大学にも若手中心の図書系職員の勉強会があり、自分とは違う業務の話や外部の方のお話を聞くことができます。この勉強会は10年以上続いており、教員の方に来ていただいたり、書店の方のお話を聞いたり、図書館や美術館の見学に行ったりと様々な活動をしています。事務系職員とのコラボ企画を行ったりもしました。

先輩方は大学院で学んだり、海外の図書館に研修に行かれたりとアクティブな方が多く、刺激を受けています。



ku-librarians: 図書系職員勉強会 <http://kulibrarians.g.hatena.ne.jp/>  
Twitter アカウント (@kulibrarians)

## 施設系 技術

主な業務内容■  
施設整備の企画・立案に関する業務/建物、設備等の計画、設計積算、施工管理及び検査/施設の維持保全、有効活用及び点検、評価、省エネ対策/電気・ガス・水道等の需要管理

### 大学をプロデュース

～ハード面から  
教育と研究を支えます～

梅澤 美央子 Umezawa Mioko

施設環境部 施設企画課 平成 22 年採用  
予算管理・執行グループ



現在の仕事内容を教えてください。

今は主に施設整備費補助金に係る予算の管理を行っています。デスクワークが中心で概算要求、交付申請等の書類作成をしています。今はまだ工事を担当したり等の建築業務は経験していませんが、まだまだ学ぶべきことは多く予算の場所だからこそ見てくると感じられることを大切にしたいと思っています。

また、普段現場に行く機会がないので、現場見学等がある際には上司の許可を経て積極的に参加するようにしています。

職場の雰囲気はどうか。

「京都大学」と言えば、どこか固いというイメージを持っていたのですが、私のいる施設企画課は明るく和気あいあいといった雰囲気でもとても居心地がよく、自分のペースでゆっくりと仕事をさせていただいています。

また、飲み会も多く、施設職員の野球部、建築会での旅行、女性技術系職員での食事会など多種多様なイベントも盛りだくさんで、仕事とは違う上司や先輩方の一面を見ることができ、楽しみのひとつになっています。

京大職員を志望した理由を教えてください。

私が京都大学を志望したのは、同職の父の影響がありました。幼い頃から、父が携わった建物を見に大学へと連れられ、それを得意気に話す姿を今でも覚えています。「建築に携わる仕事がしたい」と考えた時に、自分が関わった建物とそれを利用する人がすぐ側にいる環境は、私の中でとても特別であり、その中でも京都大学はキャンパス規模、教職員・学生数の多さ、地域への貢献度等からも多くの出会いがあり、やりがいのある職場だと思います。

何をするにも興味をもって  
首をつっこんで、楽しんで!!



## 教室系 技術

主な業務内容■  
実験データの収集及び解析に関する業務/機械、機器、装置等の設計・開発・作成、運用・管理/学生実験の企画・立案、準備、技術指導/通信・情報ネットワークシステム、ネットワーク機器の維持管理

### 教育と研究の最前線で

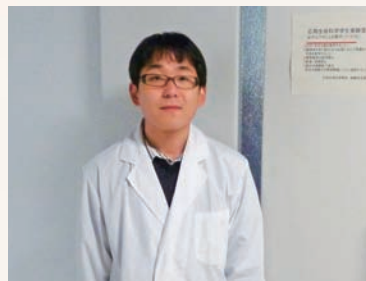
～専門知識を現場で活かします～

吉岡 哲平 Yoshioka Teppei

農学研究科等 平成 20 年採用  
応用生命科学専攻

現在の仕事内容を教えてください。

農学部応用生命科学科と食品生物科学科の3回生の学生実験に携わっています。具体的には、実験の準備、実験に使う器具・機器類の保守・管理、実験室の安全衛生面のチェック、廃液処理に関する業務、実験室での学生対応・指導等、様々な面から実験をサポートする事が主な仕事です。また、実験を行う上で必要な、実験経費の管理や各種申請書類の作成等も行います。



職場の雰囲気はどうか。

学生実験の職場は、実験の準備等、一人で行う仕事も多く、一人職場のような感じで、自分のペースで仕事をしていける面があります。その一方で、実験中は学生・教員と一緒にいる時間が長く、楽しい雰囲気の中で色々話をする機会もあり、事務職員や業者の方ともやり取りがあります。実験のない期間は、研修への参加や休暇も取りやすい職場です。

京大職員を志望した理由を教えてください。

京都で生まれ育った私にとって、京大は幼い頃からの憧れでした。世界でも有数の研究機関であり、日本・ひいては世界の将来を担う人材を輩出する教育機関である京大で、教育・研究支援の業務に携わる事のできる京大・技術職員は非常に魅力的な、やりがいのある仕事だと思い、また、そのような現場に身を置く事で自分自身を高める事ができると考え、京大の技術職員を志望しました。



大学は多様な職種・立場の人が居て、  
様々な考え方に触れる事のできる、  
可能性に満ちた職場だと思います。

そこが知りたい！

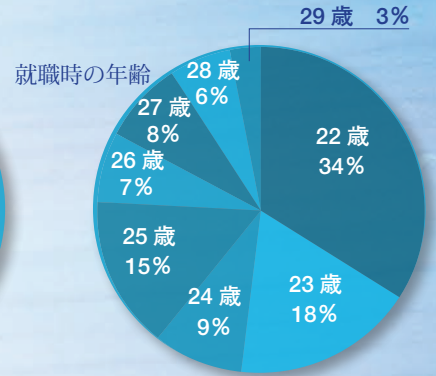
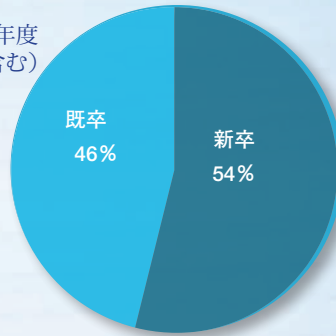
京大職員

# Q&A

## Q1 採用者のうち、新卒と既卒の割合は？

A：円グラフからもわかるように、新卒・既卒でだいたい半々くらいです。京都大学では既成概念にとらわれず業務に取り組むことができる新卒者も、多様な経験を活かし広い視野で物事を判断できる既卒者も、どちらも必要と考えており、採用に有利・不利はまったくありません、幅広い年齢層から採用しています。

平成 20 年度～ 22 年度  
採用実績（内定者含む）  
事務・図書・技術



## Q2 どのような服装で働いていますか？

A：男性の場合はほとんどの方がスーツですが、女性は男性に比べてラフな格好の方が多いです。社会人としての節度を守った服装であれば、特に決まりはありません。夏場はクールビズのため、男性もノーネクタイやポロシャツを着てこられる方が多くいます。

## Q3 勤務地は京都市内だけですか。また海外勤務等はあるのでしょうか？

A：吉田・桂キャンパス（いずれも京都市内）と、宇治キャンパス（宇治市内）での勤務がほとんどです。ただし、東京（東京オフィス）をはじめ、全国に研究施設等がありますので、本人の意向も考慮の上、遠隔地勤務になる場合もあります。また、LEAP（文部科学省国際教育担当職員長期研修プログラム）や協定を結んでいる海外の大学との人事交流など、希望に応じて海外で勤務する機会がありますので、興味のある方は是非積極的に参加していただきたいと思います。

## Q4 休暇はとりやすいですか？

A：年次休暇は、年間 20 日（4 月採用の場合は 15 日）付与されていて、20 日を限度として翌年に繰り越すことができます。比較のお休みは取りやすい環境なので、自分の仕事と相談しながら、各々のペースで有意義に活用しています。また、夏季休暇や年末年始の休日を年次休暇と合わせて旅行等に活用されている方が多くいます。

## Q5 働くまでにどんなことを勉強しておけばよいのでしょうか？

A：やはり Word や Excel といった基礎的なパソコン技術は業務上必須ですので、採用されるまでに勉強しておくことで役に立ちます。他にも、英語や簿記が必要となってくる部署がありますので勉強しておくことでよいですが、採用後も研修や自己啓発支援制度が整っており、学ぶ機会が用意されています。

## Q6 ズバリ、職場結婚は多いのですか？

A：仕事がかっけとなり、職場結婚されている人も多くいます。さらに、結婚後も夫婦ともに仕事を続けている例が圧倒的に多いのがポイントです。京都大学では、産休育休等の制度が充実しており、安心して働ける環境が整っているといえますね。



# 給与・勤務時間・人事異動など

## 給与・手当など

### 初任給

約 172,000 円～ \*学歴、職歴により決定します。

### 都市手当

勤務地により異なり、京都市勤務の場合は（本俸＋扶養手当）× 10%が支給されます。

### 期末・勤勉手当

いわゆるボーナスです。毎年6月と12月に支給され、年間支給割合は3.95ヶ月分（平成22年度）です。

その他、通勤手当、住居手当、扶養手当などがあります。

## 勤務時間

原則は月曜日から金曜日の8時30分～17時15分（休憩は12時～13時）です。

\*部局・職種によっては一部異なる場合があります。

## 人事異動

事務職員に関しては採用後、2年程度の比較的短いサイクルで、総務系・財務系・教務系・研究協力系等の分野を異にする系間異動に加え、部局事務と本部事務との間で人事異動を実施する予定です。多様な職場を経験する中で職務適性を自らが見極められるように配慮します。また、近畿地区内の国立大学法人や文部科学省など多くの他機関と人事交流を行っており、京都大学以外で勤務する機会もあります。

さらに、京都大学では「男女共同参画推進アクション・プラン」を策定し、男女問わず能力のある職員を積極的に登用し、適材適所の人事配置に努めています。

京都大学男女共同参画推進室のホームページ (<http://geco.adm.kyoto-u.ac.jp/index.html>) もあわせてご覧ください。

## 休日

土・日・祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、創立記念日（6月18日）

\*部局・職種によっては、休日に変更になることがあります。

## 休暇

### 年次休暇

職員が希望する時季に使用できる

有給休暇で、4月採用者は15日、翌年1月1日以降は年20日付与されます。その年に使用しなかった休暇日数は、20日を限度として翌年に繰り越されます。

### 病気休暇

職員がケガや病気による療養のため勤務できない場合に、医師の証明等に基づき認められる有給休暇です。

### 特別休暇

結婚、出産など特別な事由がある場合に認められる有給休暇で、主なものは以下のとおりです。

夏季 ● 7月から9月中の連続する3日

結婚 ● 連続する5日以内

産前 ● 6週間（多胎妊娠の場合14週間）以内

産後 ● 8週間

子の看護 ● 1年に5日（子が2人以上の場合は10日）以内

※小学校就学の始期に達するまでの子が対象となります。

配偶者の出産 ● 2日

その他、ボランティア休暇、忌引休暇などがあります。

## 休業

### 育児休業

子が3歳に達する日まで取得をすることができ、子育てに専念できる制度です。男女を問わず利用することができます。また、子が1歳になるまで給与の約50%を育児休業給付金として受給できます。

### 育児部分休業

子が小学校3学年の終期まで取得できます。勤務の初めまたは終わりに1日2時間を限度に休業することができます。

### 育児短時間勤務

子が小学校3学年の終期まで教職員が希望する勤務態様（週3日、午前のみ、午後のみ）で勤務することができます。

\*その他、介護休業、介護部分休業、自己啓発等休業などがあります。

## 福利厚生

### レクリエーション

京都大学では様々なレクリエーションを実施しています。毎年度、夏には学内対抗の野球大会、秋にはテニス大会のほか歴史・美術・建築・庭園のテーマを設定した社寺見学会、冬にはボウリング大会が計画されるなど、いずれも多くの職員が参加し、リフレッシュを図り親睦を深めています。



### 宿舎

家族で入居できる世帯用宿舎が京都市内に熊野、十条、桂、京都府下に向日、大阪府下に香里、高槻にあります。宇治には単身用宿舎があります。

### 附属図書館

京都大学には50もの図書館・図書室があります。附属図書館は22時まで開館していますので休憩時間だけでなく勤務が終わった後にも利用することができます。



### 食堂

生協食堂のほかに、百周年時計台記念館の中にはフレンチレストラン「ラ・トゥール」、正門を入ってすぐのところにはカフェレストラン「カンフォーラ」などがあります。





# 研修・自己啓発

## 研修

職員の職務に必要な能力開発を推進するとともに、専門的な能力を身につけるため、様々な研修の機会を提供しています。

**階層別・職能別研修** 採用時に1週間行われる新採用職員研修をはじめとして、中堅職員研修、専門職員研修等、それぞれのポストに応じた階層別研修や、事務職員、教室系技術職員や図書職員などに対する専門的知識を習得するための職能別研修などがあります。

**英語実践研修** 大学を取り巻く環境が急速にグローバル化される中、大学の国際競争力の強化、国際的に活躍できる高度な人材の育成が求められています。そこで、「大学事務の現場で使える英語力・実践的コミュニケーション能力」を職員全員に身につけさせるため、京都大学独自の研修プログラムにより、平成21年度から実施しています。

**その他の研修** 文部科学省等、他機関への派遣研修、海外派遣研修などがあります。

**新採用職員研修** 一週間の日程で行われます。各理事による京都大学についての様々な講義や桂・宇治キャンパス等の施設見学、また社会人に必要なビジネスマナーや仕事の進め方に関する研修などがあります。その他、若手職員との交流の場など、様々な内容が用意されています。

**新採用職員育成プログラム（事務系職員、施設系技術職員対象）** 新採用職員研修に加えて、採用後4ヶ月間に渡り月2回程度、事務本部各部及び附属病院での研修、プレゼンテーション研修などを実施しています。これは、京都大学職員として必要な基礎的知識を身につけるとともに、多様化する大学業務に即応できる職員を育成することを目的としています。

## 自己啓発支援制度

キャリア形成に向けて「自ら学ぶ」職員を支援するための制度を導入し、自ら学び成長する機会を提供しています。

**通信教育等の受講支援** 通信教育・eラーニング、放送大学の講座を修了した者に対して受講料の半額を助成する制度があります。

**英会話教室通学支援** 大学指定の英会話教室へ通学し、出席率を満たした上、コミュニケーションスキルで一定の進歩がみられた者に対してレッスン受講料の半額を助成する制度があります。

**自己啓発等休業制度、自己啓発部分休業制度** 自発的な大学等における修学又は国際貢献活動のため、一定の条件を満たした職員が、身分を保有したまま休業することができる制度です。また、勤務時間の一部について、部分休業することもできます。



運動施設

大学内のグラウンド、テニスコート、体育館、夏季にはプールなどを休憩時間に使用することができます。

## 保健診療所

大学内には保健診療所があり、内科、神経科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科などを受診することができます。

また、保健診療所とは別にカウンセリングセンターもあり、メンタルヘルスの相談をすることができます。



## 共済事業

文部科学省共済組合ではケガ・出産や災害への短期給付、年金などを給付する長期給付、診療や保養施設の運営、資金の貸付などの福祉事業を行っています。保養施設、提携スポーツクラブ等の利用助成もあります。充実した事業で組合員とその家族の生活安定、福祉の向上に寄与しています。

## 経験者が語る育児休業

### 瀬田 依子

人事・共済事務センター 平成10年採用



#### 育児休業の制度について

現在2児の母ですが、1人目、2人目共に1歳頃まで育児休業を取得しました。1歳になるまでは身体も未成熟で、睡眠や食事等の世話に手がかかる大変な時期でしたが、日々成長していく時期でもあり、そういう貴重な時間を身近で過ごすことができとても良かったです。

#### 育児休業中の生活について

1人目のときは分からないことだらけで日々悪戦苦闘、2人目のときは余裕はできたものの上の子の世話もあったため、毎日があっという間でした。でも平日子供とお出かけしたり、長期間帰省したりと、働いているとなかなかできないことができ、楽しい思い出も沢山作れました。

#### 職場とのつながりについて

夫が本学職員であるため夫からも色々な情報は入ってきましたが、同僚と連絡を取り合ったり、また諸手続きの際に子供と一緒に職場へ顔を出したりして、近況など色々教えていただいたりしました。

#### これから取得する人へ

京都大学では育児休業を取得する人が多く、また復帰後も部分休業や看護休暇などの制度が整っており、育児休業は取得しやすい環境にあると思います。働き始めると子供との時間をじっくり取ることがなかなか難しくなるので、是非長めに取得され、休業中は「育休ライフ」を満喫してください。

#### ●第1子

※大学共同利用機関法人人間文化研究機構（総合地球環境学研究所）へ出向中  
産後休暇（H18.3.10～H18.5.7）  
育児休業（H18.5.8～H19.2.28）

#### ●第2子

産後休暇（H21.4.19～H21.6.14）  
育児休業（H21.6.15～H22.5.16）



NCS主催による楽しい懇親会の様子

内定者を全力でサポート！

## NCS (New Comers' Supporters) って何ですか？

本学では、採用内定者〈事務系職員（技術職員を含む）〉に対して、

1. 今後京都大学で働く者としての意識・意欲の向上
2. 職員・内定者間又は内定者同士の積極的な交流促進
3. 内定者への具体的な京都大学像及び事務職員像の提供
4. 大学で働くことに対する疑問・不安の解消

等を目的として、New Comers' Supporters、通称NCSを設置し、内定者へのサポートを行っています。NCSを構成するのは、さまざまな職務に従事している若手職員たち。採用内定者の抱えるさまざまな疑問・不安に対し、より身近な立場からの回答・アドバイスができるような体制を整えています。

また、希望者には事前にメールアドレスを登録してもらい、定期的に新採用職員のためのメールマガジンを発行しています。その内容は、京都大学での仕事の紹介から社会人としての心構え、京都の住宅情報や余暇の過ごし方まで、多岐にわたっています。メールマガジンに寄せられたさまざまな質問に対しては、NCSメンバーだけにとどまらず、さまざまな立場からのバラエティ豊かな回答を掲載しています。さらに、情報が一方通行にならないよう、メールマガジンとは別に窓口を設けて、皆様からの質問を受付けています。比較的採用数の少ない技術区分の内定者に対しても、技術系の若手職員が回答するなどして、きめ細やかな対応を行い、内定者から好評を得ています。

また、NCS主催による懇親会も多数開催。万全の体制で、皆様をお待ちしております。

## NCSのサポートを受けた感想（新採用職員アンケートより）

- ▶ 内定から採用までの期待と不安でいっぱい時期に、メールマガジンで情報を収集したり、交流会などで先輩や同期と話をしたりしたことは、4月までにできることを頑張ろうという励みになりました。
- ▶ 部屋探しの際に親身になって相談に乗っていただき、大変助かりました。
- ▶ メールマガジンが届くたび、採用までのいろいろな不安が解消できました。特に住居特集が参考になりました。毎回ボリュームたっぷり、届くのがとても楽しみでした。
- ▶ 内定してから採用までの期間に、様々な情報提供やイベントの企画をしていただき、とても心強かったです。このように内定者サポートを行っている組織は珍しく、他の企業に採用された友人たちにもうらやましがられました。
- ▶ 今、京大で落ち着いて仕事ができているのは、NCSの皆様のおかげです。本当にありがとうございました。
- ▶ 内定者としては心強いサポートですし、大変助かりました。新採用研修のとき、すんなりと同期と話すことができよかったです。

# NCS

New Comers' Supporters

私たちが  
NCSメンバーです!!

平成23年度京都大学職員採用案内をご覧の皆様、はじめまして。私たちが、NCSのメンバーです。仕事の不安から新生活の悩みまで、どんな相談も、我々NCSにおまかせください！

皆様の相談相手になれる日を、心から楽しみにしています。



# 京都大学を目指す皆さまへ

京都大学は、百年を越える歴史の中で、多くの優秀な人材を輩出し、独創的な研究を数多く生み出して、わが国のみならず世界の学術・文化の発展、科学技術の進歩に寄与してきました。

京都大学は、教員・職員・学生からなる大きな組織で、すぐれた教育と研究、社会貢献を行うことを使命としています。京都大学は、教員と一体となって大学の活性化と発展のために働いていただく意欲ある職員を求めています。

京都大学職員の職務は多岐にわたります。学生の教育を扱う教務や最先端の研究を支援する業務のほか、海外の教育研究機関や民間企業・地域社会との連携に携わる業務、キャンパスを整備する施設関連業務、さらに大学の活動や様々な成果を世界に発信する広報活動もあります。医学部附属病院では、スタッフとして医療を支える仕事も重要です。そして、それらの活動を支える総務、人事、財務、情報基盤等の業務が大学の基盤をなしています。スケールの大きな京都大学だからこそ、職員の一人一人がその適性と能力を発揮して活躍していただける場があります。その中で、課題に挑戦し京都大学の改革に取り組んでいただくとともに、京都大学職員としての生活の中で個人の幸福を実現していただくことを目指しています。

国立大学は7年前に法人化し、独自の企画に基づいて新しい教育・研究などの活動ができるようになりました。意欲的な方々が職員として京都大学に加わっていただき、新しい時代に向けた発展と社会貢献のために共に働いていただけることを心から期待しています。

総務・人事担当理事  
副学長 塩田 浩平



## 採用スケジュール (平成 23 年度)

- 5月15日** 1次試験  
(近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験)
- 6月28日** 1次試験合格発表
- 7月上旬以降** 2次試験(面接考査等)実施
- 7月中旬以降** 随時内(々)定者決定

新卒者は平成24年4月1日付け 採用予定

既卒者は平成23年8月1日以降 採用予定

採用後は、本人の適性或専門性と希望に応じて  
様々な部署を経験することになります。

## 採用実績

試験区分	20年度	21年度	22年度
事務(一般事務)	60	31	25
事務(病院事務)	6	4	4
図書	2	3	3
電気	4	2	2
機械	2	1	
建築	1	1	1
化学	1		
物理			1
電子・情報	1	1	
農学		1	
林学	3		1
生物・生命化学		1	

※22年度については、内定者の数を含みます。

※今年度の詳細(採用予定数等)については、京都大学ホームページに掲載予定です。

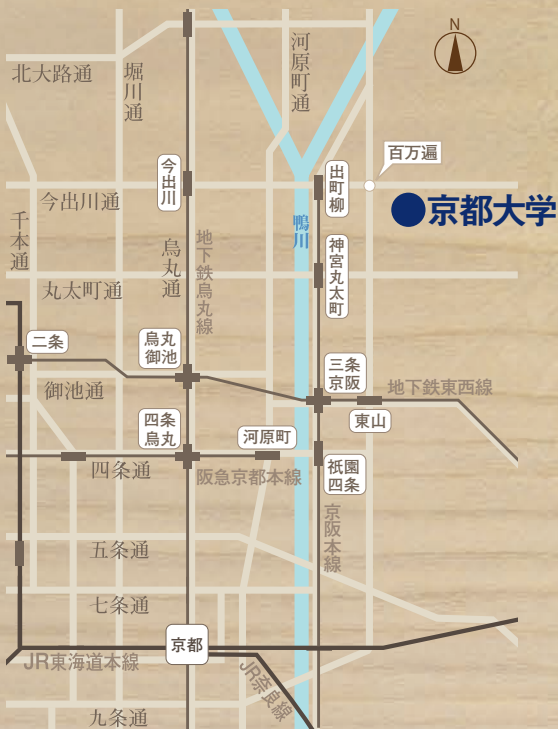
お問い合わせ先

京都大学総務部人事企画課人材育成グループ  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL 075-753-2056  
E-mail shiken2011@www.adm.kyoto-u.ac.jp

近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験事務室  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町(京都大学内) TEL 075-753-2230

京都大学の事務・図書・技術職員は近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験合格者から採用されます。

統一採用試験の詳細については、左記統一採用試験事務室までお問い合わせ下さい。



**主なアクセス**

JR/近鉄京都駅 から  
市バス206系統(東山通 北大路バスターミナル行)  
「京都駅前」乗車「京大正門前」下車(約35分)

阪急河原町駅 から  
市バス201系統(祇園・百万遍行)  
「四条河原町」乗車「京大正門前」下車(約25分)

京阪出町柳駅 から 東(百万遍方面)へ徒歩約1km



**京都大学**

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL 075-753-7531 (代表) <http://www.kyoto-u.ac.jp>